

「女性から選ばれる長野県を目指すリーダーの会」
第3回リーダーミーティング 開催概要

○日時：令和7年2月5日（水）15：30～17：00

○場所：ホテル国際21 3階「千歳」

○出席者（氏名五十音順・敬称略）

29名（メンバー18名、代理出席11名）

【メンバー】

相場 はるか	ゴコー電工株式会社 代表取締役
伊藤 由郁紀	株式会社守谷商会 代表取締役社長
碓井 稔	セイコーエプソン株式会社 取締役会長
太田 寛	安曇野市 市長
久世 良太	株式会社サンクゼール 代表取締役社長
久保田 一臣	株式会社タカチホ 代表取締役社長
小泉 俊博	小諸市 市長
古後 理栄	株式会社Ccobi 代表取締役社長
小園 拓志	御代田町 町長
下村 祐貴子	ケラッタ株式会社 代表取締役
高木 亜矢子	高木建設株式会社 代表取締役社長
長浦 とし子	NPO 法人元気お届け隊 理事長
野村 高城	野村ユニソン株式会社 代表取締役社長
松下 正樹	株式会社八十二銀行 頭取
丸山 将一	エムケー精工株式会社 代表取締役社長
三木 正夫	須坂市 市長
森川 英樹	コトブキ通商株式会社 代表取締役社長
吉田 寧裕	吉田工業株式会社 代表取締役社長

【代理出席】

臼井 洋一	坂城町 副町長
荻野 邦子	株式会社Tiuchie 専務取締役
北澤 武彦	千曲市 総務部長
小松 信子	東御市 市民生活部長
田中 史郎	松本市 総務部長
田中 久登	大町市 総務部長
中澤 あゆみ	株式会社戦略デザインラボ 取締役
中澤 資長	長野県信用組合 専務理事 人事部長
中村 正人	長野県商工会連合会 専務理事
古畑 久哉	塩尻市 商工観光部長
向山 浩正	KOA株式会社 取締役上席執行役員

○概要

1 開会挨拶

太田 寛（安曇野市長／発起人）



太田氏から、「昨年 12 月に決定された信州未来共創戦略において、2030 年の目標として都道府県版ジェンダーギャップ指数の政治・行政・教育・経済すべての分野で上位 10 位以内の獲得が掲げられており、本会のメンバーとこうした方向性を共有しながら、県民や産業界、市町村等と一体となって若者・女性から選ばれる寛容な社会づくりを進めていきたい。」との発言がありました。

2 グループディスカッション

（1）メンバーの取組事例発表



メンバーと代理出席者がそれぞれグループに分かれ、自らの行動宣言に基づいて取り組んだこと（上手くいったことや、取り組む中での課題など）を発表しました。

（2）意見交換



行動宣言の中で最も多く挙げられている取組が「女性管理職登用」であること、また、本県のジェンダーギャップ解消に向けた大きな課題であることから、今回のテーマに「女性の管理職登用促進と課題」を設定し、グループごとに、自組織で取り組んでいることや課題、今後取り組みたいこと等について意見交換しました。

3 全体発表



グループの代表者が、グループ内の議論内容や、今後取り組んでいきたいことを中心に全体に発表しました。

【主な意見】

- 女性活躍は何のためにやるのか目的を共有することが重要。
- 女性活躍の取組は経済団体や市長会、町村会など各団体が自律的に推進する体制にしていかないといけない。
- 女性が県外に出ても戻って来なくなる環境をどのようにつくるかが重要。
- 管理職になることに対するイメージが良くない。イメージを変えていく必要がある。
- 制度は整ってきているが、周知が出来ていない。
- ポジティブアクションに不満を持つ男性も多く、理解を進める必要がある。
- 男性リーダー由来のリーダー像の固定観念があり、その役割を全てこなせないとリーダーになれないと思込んでいる女性が多く、リーダー像の再定義が必要。

4 閉会挨拶 丸山 将一 氏（エムケー精工株式会社 代表取締役社長／発起人）



丸山氏から、出席者への感謝の言葉とともに、「組織トップの言動や行動は組織に大きな影響を及ぼすことから、トップが集まって議論することが重要。これまでの大量生産の時代からイノベーション探索の時代になり、多様性が求められており、女性の潜在的な力を活用していかなければならない。」との発言がありました。